

⑫ 公開特許公報 (A)

平4-72145

⑤ Int. Cl. 5

B 65 D 19/42
19/38

識別記号

庁内整理番号

Z

6916-3E
6916-3E

⑬ 公開 平成4年(1992)3月6日

審査請求 未請求 請求項の数 9 (全10頁)

④ 発明の名称 コンテナシート

② 特願 平2-182264

② 出願 平2(1990)7月9日

⑦ 発明者 中島悟 岐阜県美濃市片知850番地 株式会社中島紙工内
 ⑦ 出願人 株式会社中島紙工 岐阜県美濃市片知850番地
 ⑦ 代理人 弁理士 樋口武尚 外1名

明細書

1. 発明の名称

コンテナシート

少なくとも1個以上はその2面以上を直線的に
連続形成した複数のシートと、

2. 特許請求の範囲

(1) コンテナの天井面及び対向する正面及び背面を覆うべく一体に形成された第1シートと、前記コンテナの一側面を覆うべく形成された第2シートと、

前記コンテナの他側面を覆うべく形成された第3シート、

前記第1シートと前記第2シート、前記第1シートと前記第3シートとの縁部相互を開放可能に係合する係合手段と

を具備することを特徴とするコンテナシート。

(2) 前記第2シートと前記第3シートの上側コーナー部は、鉛曲としたことを特徴とする請求項1に記載のコンテナシート。

(3) コンテナの天井面及び対向する正面及び背面及び右側面及び左側面を覆うべく形成され、

前記複数のシートの縁部相互を開放可能に係合して結合され、下端が開口した状態の略直方体状の5面を形成する係合手段と
を具備することを特徴とするコンテナシート。

(4) 前記シートの縁部は、前記コンテナの隅柱に結び付ける紐の通し穴を備えたことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか1つに記載のコンテナシート。

(5) 前記シートの外面には、書類を収納するポケットを備えたことを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか1つに記載のコンテナシート。

(6) 前記各シートの縁部と前記係合手段は、補強部材で挟んで設けられたことを特徴とする請求項1から請求項5のいずれか1つに記載のコンテナシート。

(7) 前記係合手段は、ファスナー部材としたことを特徴とする請求項1から請求項6のいずれか1つに記載のコンテナシート。

(8) 前記各シートの縁部と前記ファスナー部材は、補強部材で挟んで縫付けられたことを特徴とする請求項1から請求項7のいずれか1つに記載のコンテナシート。

(9) 前記シートは、透明材または半透明材で形成したことを特徴とする請求項1から請求項8のいずれか1つに記載のコンテナシート。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は物品の輸送に使用されるコンテナを覆うコンテナシートに関するものである。

[従来の技術]

従来より小荷物や小包等の物品の運搬や一時保管においては、流通の効率化を図るためにコンテナがよく使用される。前記コンテナは、通常、板、パイプ、丸棒等で箱状に組立てられ、床板の下部にはキャスターやリフト運転のためのフォークボケットが取付けられている。このコンテナを使用

面を形成する側壁、(3a)は前記側壁(3)の両端部を形成する隅柱、(4)は前面開口部両側の隅柱(3a)の間に横に取付けられた扉棒で、一端は環状に形成されて隅柱(3a)の上部に固定されたコ字状のヒンジ金具(5)に回動可能に取付けられ、他端は下方に屈折された屈折部が対向する隅柱(3a)の上部に固定されたパイプ状の留め金具(6)に挿入されている。(7)は前記扉棒(4)の下方において両隅柱(3a)の間に着脱可能に取付けられたゴムバンド、(8)は前記床板(3)の下部に取付けられたキャスターである。(9)は前記コンテナ(1)に積載され、トラック等で配送される小荷物や小包等の物品である。

(21)は直方体の袋状に形成され、下面が開口したシートで、ポリエチレン等のプラスチック材が使用されている。前記シート(21)は全体を略長方形に裁断された後、縁部相互を溶着、縫付け、或いは、鳩目かしめ等によって接合されている。

して物品をトラック輸送するときには、集積場で物品をコンテナ内に積載し、コンテナの扉を締めた後、フォークリフトによってトラックに積込んだり、プラットホームからコンテナを手押しでトラック内に積込んだりして、コンテナとともに目的地まで運搬している。

ところで、このコンテナを一時保管しているときやトラックへの出し入れのときに、雨がかかるたり、風等によって埃が付着するのを防ぎ、更に落下を防止するためにコンテナの外側からシートを被せることがある。

従来のこの種のコンテナシートとして、第6図及び第7図に示したものがある。

第6図は従来のコンテナシートをコンテナに装着した状態を示す斜視図、第7図はコンテナを示す斜視図である。

図において、(1)は幅1[m]、奥行0.8[m]、高さ1.5[m]程度の大きさのコンテナ、(2)は前記コンテナ(1)の床板、(3)は前記床板(2)の周端部に立設され、側面と後

次に、上記のように構成された従来のコンテナシートの作用を説明する。

コンテナ(1)に小荷物や小包等の物品(9)を積載した後、シート(21)を上部から被せてコンテナ(1)の全体を覆うことによって、コンテナ(1)を移動する間或いは一時保管中に、雨や風が当たるのが防止でき、内部の物品(9)が保護される。また、運搬中に開口部から物品(9)の落下が防止される。

なお、前記シート(21)は常時或いは必要に応じてコンテナ(1)に被せられる。

ところで、前記シート(21)は袋状に形成されているので、物品(9)の出し入れのときにはその都度シート(21)を上部から取外さなければならず、作業性が悪かった。そして、コンテナ(1)は通常1~2[m]程の高さがあるので、シート(21)の脱着においては、コンテナ(1)の周囲を何回も往復しながら、また、シート(21)の隅部とコンテナ(1)の隅柱(3a)との位置がずれ易いので位置調整を行ないながら脱着

しなければならなかった。更に、シート(21)を脱着するときに、下方や手前側に引張るので、シート(21)の隅部がコンテナ(1)の角部に引掛かったりしてシート(21)を破ることがあった。

そこで、このような不具合を解決するために、物品(9)の出し入れの際には、シート(21)を挿着したまま開口部のみを開けるようにしたものがいる。これを第8図に基づいて説明する。

第8図は従来の他のコンテナシートをコンテナに装着した状態を示す斜視図である。

図において、(22)はシート(21)における前面シート(21a)の両縁部と隣接する側面シート(21b)の縁部との間に取付けられたファスナーで、前面シート(21a)と側面シート(21b)の縁部とを開放可能に接合している。これによれば、物品(9)を出し入れするときは、シート(21)の前面シート(21a)の両縁部のファスナー(22)を上端部まで外し、前面シート(21a)を上方にめくって作業を行な

い、作業を終えた後、前面シート(21a)を下げる両縁部のファスナー(22)をかうことができるので、物品(9)を出し入れする都度、シート(21)全体を外さなくてもよい。したがって、作業性が向上する。

上記従来例では、コンテナ(1)の下部にキャスター(8)を取付けたものを示しているが、キャスター(8)を取付けずに、フォークポケットのある板パレットを設け、トラックにコンテナ(1)を積み卸すときには、フォークリフトを使って行なうものもある。この種のコンテナ(1)によれば、トラックの輸送中に、コンテナ(1)が移動しないので、物品(9)の荷くずれやコンテナ(1)の破損を防ぐことができる。また、ブレーキ付きのキャスターを使用することもできる。これらのいずれを用いるかはコンテナ(1)の使用形態に応じて判断されている。

[発明が解決しようとする課題]

従来のコンテナシートは、上記のように構成さ

れ、シート(21)は袋状に形成されているので、コンテナ(1)への脱着の作業性が良くなかった。また、前面シート(21a)の両縁部にファスナー(22)を取付けたものは、物品(9)の出し入れの作業性は向上するが、他の部分はやはり袋状に接合されているので、前記従来例とともに、コンテナ(1)へのシート(21)の脱着の作業性が良くなく、更に、シート(21)の製作時に立体的に縫製する必要があったから、その縫製のし難さがあり、作業効率が良くなかった。そして、略十字形状或いは略T字状に裁断したときには、材料ロス分が大きくなる。

そこで、本発明は、コンテナへの脱着を簡単に行なうことができるとともに、シート材の裁断ロスを低減することができるコンテナシートの提供を課題とするものである。

[課題を解決するための手段]

請求項1にかかるコンテナシートは、コンテナの天井面及び対向する正面及び背面を覆うべく一

体に形成された第1シートと、前記コンテナの一側面を覆うべく形成された第2シートと、前記コンテナの他側面を覆うべく形成された第3シートを具備し、前記第1シートと前記第2シート、前記第1シートと前記第3シートとの縁部相互を係合手段で開放可能に係合させたものである。

請求項2にかかるコンテナシートは、請求項1に記載の第2シートと前記第3シートの上側コーナー部を彎曲させたものである。

請求項3にかかるコンテナシートは、コンテナの天井面及び対向する正面及び背面及び右側面及び左側面を覆うべく形成され、少なくとも1個所以上はその2面以上を直線的に連続形成した複数のシートと、前記複数のシートの縁部相互を開放可能に係合して結合され、下端が開口した状態の略直方体状の5面を形成する係合手段とを具備するものである。

請求項4にかかるコンテナシートは、請求項1から請求項3のいずれか1つに記載のシートの裾部に、前記コンテナの隅柱に結び付ける紐の通し

穴を備えたものである。

請求項5にかかるコンテナシートは、請求項1から請求項4のいずれか1つに記載のシートの外面に、書類を収納するポケットを備えたものである。

請求項6にかかるコンテナシートは、請求項1から請求項5のいずれか1つに記載の各シートの縁部と前記係合手段を、補強部材で挟んで設けたものである。

請求項7にかかるコンテナシートは、請求項1から請求項6のいずれか1つに記載の係合手段を、ファスナー部材としたものである。

請求項8にかかるコンテナシートは、請求項1から請求項6のいずれか1つに記載の各シートの縁部と前記ファスナー部材を、補強部材で挟んで縫付けたものである。

請求項9にかかるコンテナシートは、請求項1から請求項8のいずれか1つに記載のシートを、透明材または半透明材で形成したものである。

べく形成され、少なくとも1個所以上はその2面以上を直線的に連続形成した複数のシートと、それらの複数のシートの縁部相互を係合手段によって開放可能に係合して結合したものであるから、請求項1の記載と同様に機能することができる。

請求項4においては、シートの下部に通し穴を設けてコンテナの隅柱に紐を結ぶようにしているので、特に、シートが風で吹き上げられるのを防止することができる。

請求項5においては、シートの外面中央部に書類を収納するポケットを設けているので、特に、物品と書類が同時に移送され、物品の管理の効率化を図ることができる。

請求項6においては、各シートの縁部と係合手段を、補強部材で挟んで設けたものであるから、特に、シートの縁部の破れを防止することができる。

請求項7においては、係合手段をファスナー部材としたものであるから、全体を密に係合させることができ、かつ、それらの開放が容易である。

[作用]

請求項1においては、シートを3枚の四角形状に分割し、隣接する面の縁部相互をファスナー部材で留めるようにしたので、コンテナシートの従来からの機能のほか、裁断時にシート材のロスがほとんどなくなる。また、第1シートに第2シートと第3シートの一部を留めて平面状に展開された形状とし、コンテナに被せた後、縁部相互を留めることができるので、コンテナへの着脱を簡単に行なうことができる。更に、シートを装着した後に物品の出し入れをするときには、出し入れに必要な開口部だけを開くことができるので、簡単に作業を行なうことができる。

請求項2においては、第2シートと第3シートの上側コーナー部を彎曲としているので、特に、この部分においてファスナー等の係合部材の取付けを容易とし、かつ、操作性を良くすることができる。

請求項3においては、コンテナの天井面及び対向する正面及び背面及び右側面及び左側面を覆う

請求項8においては、各シートの縁部とファスナー部材とを補強部材で挟んで縫付けているので、特に、シートの縁部の破れを防止することができる。

請求項9においては、シートを透明材或いは半透明材で形成しているので、特に、シートを外すことなくコンテナ内の物品を確認することができる。

[実施例]

以下、本発明の一実施例を第1図乃至第5図に基づいて説明する。

第1図は本発明の一実施例によるコンテナシートをコンテナに装着した状態を示す斜視図、第2図は第1図のコンテナシートの展開した状態を示す平面図、第3図は第2図のコンテナシートの分解平面図、第4図は本発明の一実施例によるコンテナシートの物品を出し入れするときの状態を示す斜視図、第5図は第2図のファスナー取付部の拡大断面図である。図中、第1図乃至第3図と同

一符号は従来の構成部分と同一または相当する部分である。

図において、(1)は従来例と同様のコンテナである。(11)は前記コンテナ(1)に装着されたシートで、透明或いは半透明なポリエチレン等のプラスチック材が使用されている。(12)は前記コンテナ(1)の天井面及び対向する2つの面、即ち、正面及び背面を連続した一体材料によって覆う長方形の第1シート、(12a)は前記第1シート(12)の天井面部、(12b)は側面部である。(13)は前記コンテナ(1)の正面を覆う第2シート、(14)は同じくコンテナ(1)の背面を覆う第3シートである。前記シート(1)はこれらの第1シート(12)、第2シート(13)、第3シート(14)からなっている。なお、前記第2シート(13)の上側コーナー部(13a)及び前記第3シート(14)の上側コーナー部(14a)には約10[cm]のR(面取；彎曲)が付けられている。(15)は前記第1シート(12)と前記第2シート(13)

Rを付けておく。次に、第1シート(12)の2つの長辺の縁部と第2シート(13)及び第3シート(14)の両側辺と上辺に相当する部分にファスナー(15)を取付ける。このファスナー(15)の取付けにおいては、各シートの縁部とファスナー(15)の縁部を重合してから、この両側をビニルシート(16)で挟み込み、これらの重合部を縫付けている。そして、上記行程の間に、鳩目(17)とポケット(19)を取付ける。

次に、コンテナ(1)にシート(11)を装着するときには、予め、第1シート(12)の一方の側面部(12b)の縁部と第2シート(13)の一辺の縁部及び第3シート(14)の一辺の縁部との間をファスナー(15)で留めて、全体を略T字状に形成しておく(第2図を参照)。そして、第1シート(12)の天井面部(12a)をコンテナ(1)の天井面に載せ、第1シート(12)の側面部(12b)、第2シート(13)、第3シート(14)をそれぞれコンテナ(1)の両側面、正面及び背面に被せる。なお、第1シート

との間及び前記第1シート(12)と前記第3シート(14)との間に取付けられたチャック式のファスナーである。(16)は前記各シートの縁部と前記ファスナー(15)とを挟んで縫付けられた帯状のビニルシートである。(17)は前記第1シート(12)及び第3シート(14)の裾部に取付けられた鳩目、(18)は前記鳩目(17)に挿通されてシート(11)の裾部をコンテナ(1)の隅柱(3a)に結び付ける紐である。

(19)は第1シート(12)の操作し易い位置に取付けられ、伝票等の書類を収納するポケットで、挿入口を除いて周囲は縫付けられている。

次に、上記のように構成された本実施例のコンテナシートにおけるシート(11)の作製及びコンテナ(1)への着脱について説明する。

まず、シート材を裁断して、第1シート(12)、第2シート(13)、第3シート(14)を作製する。このとき、第2シート(13)の上側コーナー部(13a)及び第3シート(14)の上側コーナー部(14a)には半径約10[cm]の

ト(11)をコンテナ(1)の天井面に載せる前に、予めシート(11)を折りたたんでおいた方が作業し易い。次に、第2シート(13)及び第3シート(14)の上辺と他の側辺にもファスナー(15)で閉じる。これによって、第2シート(13)と第3シート(14)の両方について3辺全体にファスナー(15)で閉じられ、シート(11)はコンテナ(1)の外形に合わせた下端が開口した略直方体の袋状に形成される。この後、鳩目(17)に紐(18)を挿通し、シート(11)の裾部をコンテナ(1)の隅柱(3a)に結び付ける。このようにして、コンテナ(1)へのシート(11)の取付けは完了する。

次に、物品(9)を出し入れするときには、コンテナ(1)の正面を覆っている第2シート(13)の側辺と上辺の2辺においてファスナー(15)を外して開けば(第4図を参照)、シート(11)全部を外すことなく、物品(9)の出し入れを行なうことができる。なお、第2シート(13)のファスナー(15)の操作を行なうと

きには、上側コーナー部(13a)にRが付いているので、ファスナー(15)を滑らかにスライドさせることができる。

このように、上記実施例のコンテナシートは、直方体状に形成されたコンテナ(1)の天井面及び対向する2つの側面を第1シート(12)で一体に覆い、前記コンテナ(1)の他の1側面及びこれと対向する更に他の1側面をそれぞれ第2シート(13)及び第3シート(14)で覆い、前記各シートの縁部相互をファスナー部材としてのファスナー(15)で留めたものであり、また、シート(11)の裾部に前記コンテナ(1)の隅柱(3a)に結び付ける紐(18)を挿通する通し穴としての鳩目(17)を取付け、第2シート(13)の上側コーナー部(13a)と第3シート(14)の上側コーナー部(14a)にRを付け、シート(11)の外面中央部に書類を収納するポケット(19)を設け、各シートの縁部とファスナー(15)とを補強部材であるビニルシート(16)で挟んで縫付け、シート(11)を透

(15)を円滑に接合状態にできる。また、縫製工程においては、ファスナー(15)に鍔を寄せたり、無理な外力によって歪を持たせたりすることができなく、滑かに製造できる。更に、シート(11)の外面中央部に書類を収納するポケット(19)を設けているので、物品(9)と書類が同時に移送され、物品(9)の管理の効率化を図ることができ、また、各シートの縁部とファスナー(15)とをビニルシート(16)で挟んで縫付けているので、シート(11)の縁部の破れを防止することができる。更に、シート(11)を透明材或いは半透明材で形成しているので、シート(11)を外すことなくコンテナ(1)内の物品(9)を確認することができる。

ところで、上記実施例のシート(11)は、物品(9)の積載状態を外から分るようにするために透明或いは半透明にしているが、本発明を実施する場合には、これに限定されるものではなく、逆に外から分らないようにするために不透明なものを使用してもよい。そして、シート材としてボ

明材或いは半透明材で形成したものである。

したがって、上記実施例によれば、シート(11)を3枚の四角形状に分割したので、歩留まりがよく、材料ロスをほとんどなくすことができる。また、第1シート(12)に第2シート(13)と第3シート(14)の一部を留めて平面的に展開された形状にしてコンテナ(1)に被せ、この後に縁部相互をファスナー(15)で留めることができるので、シート(11)のコンテナ(1)への着脱を簡単に行なうことができる。更に、シート(11)を装着した後に物品(9)の出し入れをするときには、出し入れに必要な開口部だけを開くことができるので、簡単に作業を行なうことができる。また、シート(11)の裾部を紐(18)でコンテナ(1)の隅柱(3a)に結び付けることによって、シート(11)が風で吹き上げられるのを防止することができる。

そして、第2シート(13)の上側コーナー部(13a)と第3シート(14)の上側コーナー部(14a)にRを付けているので、ファスナー

リエチレンの他に各種のプラスチックシート材や布材を用いることもできる。

また、上記実施例のファスナー(15)は、チャック式のものを使用しているが、本発明を実施する場合には、これに限定されるものではなく、線条係合式のもの、面係合式のもの等のファスナー部材を使用することもできる。即ち、本発明を実施するには、シートの縁部相互を開放可能に係合する係合手段であればよく、例えば、複数連続配設したクリップ、鉗としての態様等も可能である。しかし、連続して密に係合状態が得られることからすれば、ファスナー部材の使用が好適であり、特に、水滴等の侵入を確実に防止できる。

そして、シートがプラスチック材の場合には、ファスナー部材もプラスチック材とすると誘電加熱等により接合でき効率的である。

そして、上記実施例のシートの裾部は、前記コンテナ1の隅柱3aに結び付ける紐18の通し穴を備えたものであるが、本発明を実施する場合にはフック、ゴム部材等によって結着を簡略化する

こともできる。また、接合部等によって接合することもできる。或いはマグネット等によってシート(11)の開口をコンテナ(1)に接合することもできる。しかし、コンテナ1の隅柱3aに対して紐18で結び付ける手法はシンプルで間違いない。

なお、上記実施例のシート(11)は、第1シート(12)でコンテナ(1)の天井面及び対向する側面を、第2シート(13)で正面を、第3シート(14)で背面を覆うようにしているが、第1シート(12)でコンテナ(1)の天井面と正面と背面を、第2シート(13)と第3シート(14)で対向する他の側面を覆うようにしてもよい。この場合、物品(9)を出し入れするには、開口部である正面を覆っている第1シート(12)の側面部(12b)の両側のファスナー(15)を上げ、側面部(12b)を開けて出し入れすることになる。即ち、本発明を実施する場合には、コンテナ(1)の天井面及び対向する正面及び背面及び右側面及び左側面を覆うべく形成され、少

第1シートに第2シートと第3シートの一部を留めて平面的に展開された形状にしてコンテナに被せ、この後に縁部相互をファスナー部材で留めることができるので、シートのコンテナへの着脱を簡単に行なうことができる。更に、シートを装着した後に物品の出し入れをするときには、出し入れに必要な開口部だけを開くことができるので、簡単に作業を行なうことができる。

請求項2の発明は、請求項1の効果に加えて、第2シートと第3シートの上側コーナー部を彎曲しているので、特に、この部分においてファスナー等の係合部材の取付けを容易とし、かつ、操作性を良くすることができる。特に、ファスナー部材を配設した場合に効果的である。

請求項3の発明は、コンテナの天井面及び対向する正面及び背面及び右側面及び左側面を覆うべく形成され、少なくとも1個以上はその2面以上を直線的に連続形成した複数のシートと、それらの複数のシートの縁部相互を係合手段によって開放可能に係合して結合したものであるから、請

なくとも1個以上はその2面以上を直線的に連続形成した複数のシートと、前記複数のシートの縁部相互を開放可能に係合して結合され、下端が開口した状態の略直方体状の5面を形成する係合手段とを具備しておればよく、連続するシートの形態は任意に設定することができる。

また、上記実施例のコンテナ(1)は、下部にキャスター(8)を取付けたものを示しているが、これに限定されるものではなく、パレット付きのもの等各種のコンテナにも適用することができる。

[発明の効果]

以上のように、請求項1の発明のコンテナシートは、コンテナの天井面及び対向する正面及び背面を第1シートで一体に覆い、前記コンテナの他の左右側面をそれぞれ第2シート及び第3シートで覆い、前記各シートの縁部相互を接合部材で開放可能に留めたものである。したがって、シートを3枚の四角形状に分割したので、型取りに際して材料ロスをほとんどなくすことができる。また、

請求項1の記載と同様の効果を奏すことができる。

請求項4の発明は、上記効果に加えて、シートの裾部にコンテナの隅柱に結び付ける紐の通し穴を設けているので、シートが風で吹き上げられたり、小物の落下を防止することができる。

請求項5の発明は、上記効果に加えて、シートの外側中央部に書類を収納するポケットを設けているので、物品と書類が同時に移送され、物品の管理の効率化を図ることができる。

請求項6の発明は、各シートの縁部と係合手段を、補強部材で挟んで設けたものであるから、上記効果に加えて、特に、シートの縁部の破れを防止することができる。

請求項7の発明は、係合手段をファスナー部材としたものであるから、上記効果に加えて、全体を密に係合させることができ、かつ、それらの開放が容易である。

請求項8の発明は、各シートの縁部とファスナー部材とを補強部材で挟んで縫付けているので、上記効果に加えて、特に、シートの縁部の破れを

防止することができる。

請求項9の発明は、シートを透明材或いは半透明材で形成しているので、上記効果に加えて、特に、シートを外すことなくコンテナ内の物品を確認することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例によるコンテナシートをコンテナに装着した状態を示す斜視図、第2図は第1図のコンテナシートの展開した状態を示す平面図、第3図は第2図のコンテナシートの分解平面図、第4図は本発明の一実施例によるコンテナシートの物品を出し入れするときの状態を示す斜視図、第5図は第2図のファスナー取付部の拡大断面図、第6図は従来のコンテナシートをコンテナに装着した状態を示す斜視図、第7図はコンテナを示す斜視図、第8図は従来の他のコンテナシートをコンテナに装着した状態を示す斜視図である。

図において、

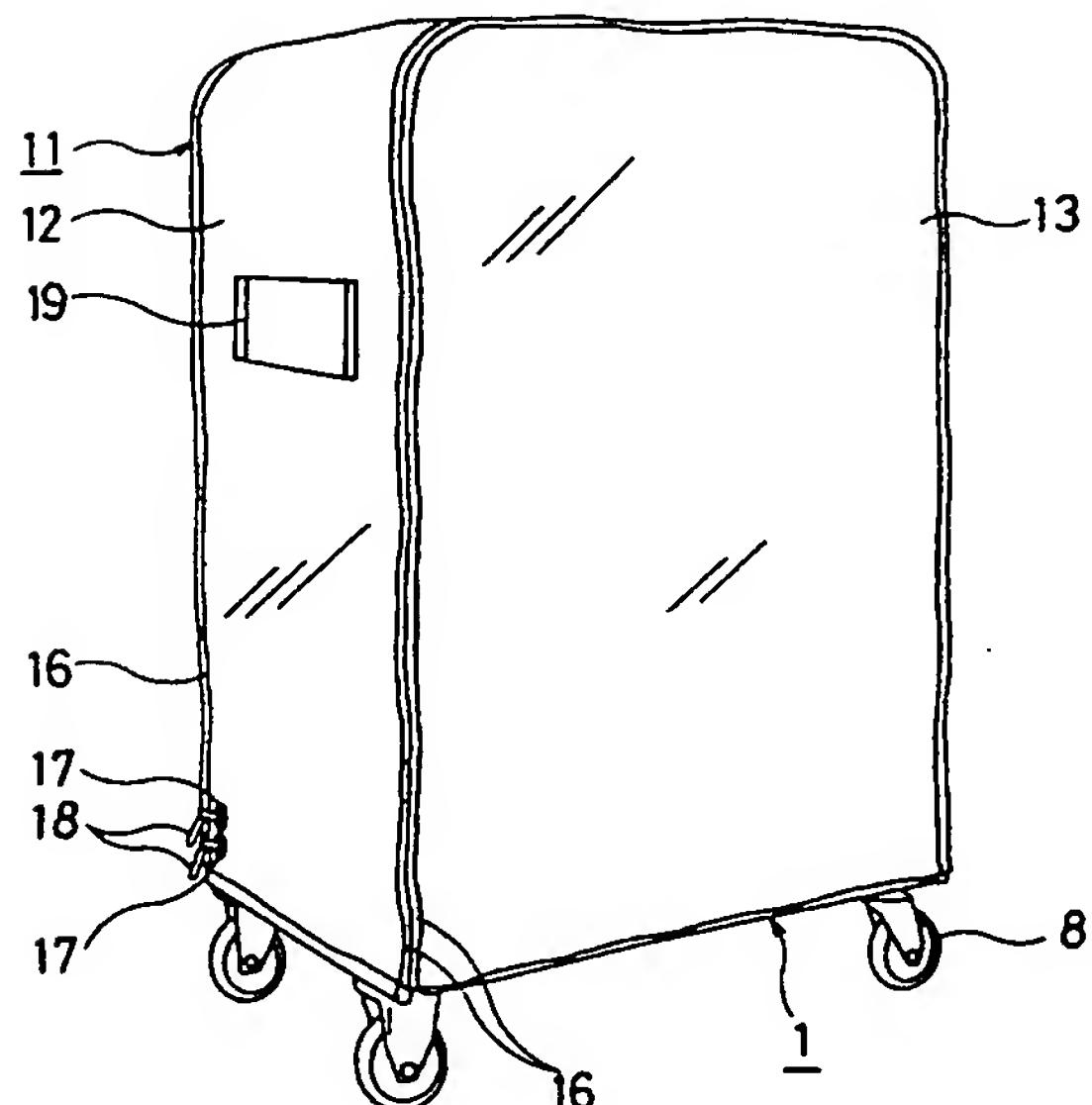
1 : コンテナ	3 a : 隅柱
11 : シート	12 : 第1シート
13 : 第2シート	14 : 第3シート
13 a, 14 a : 上側コーナー部	
15 : ファスナー	16 : ビニルシート
17 : 鳩目	18 : 紐
19 : ポケット	

である。

なお、図中、同一符号及び同一記号は同一または相当部分を示すものである。

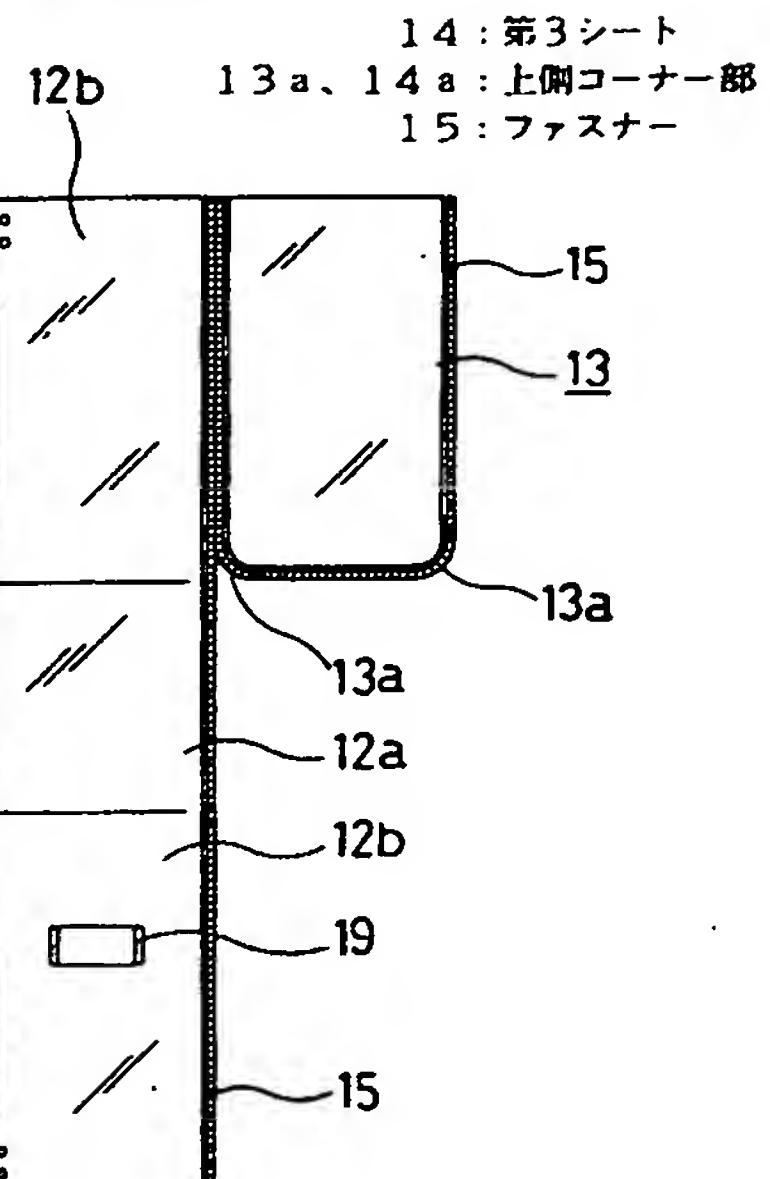
代理人 弁理士 橋口 武尚 外1名

第1図



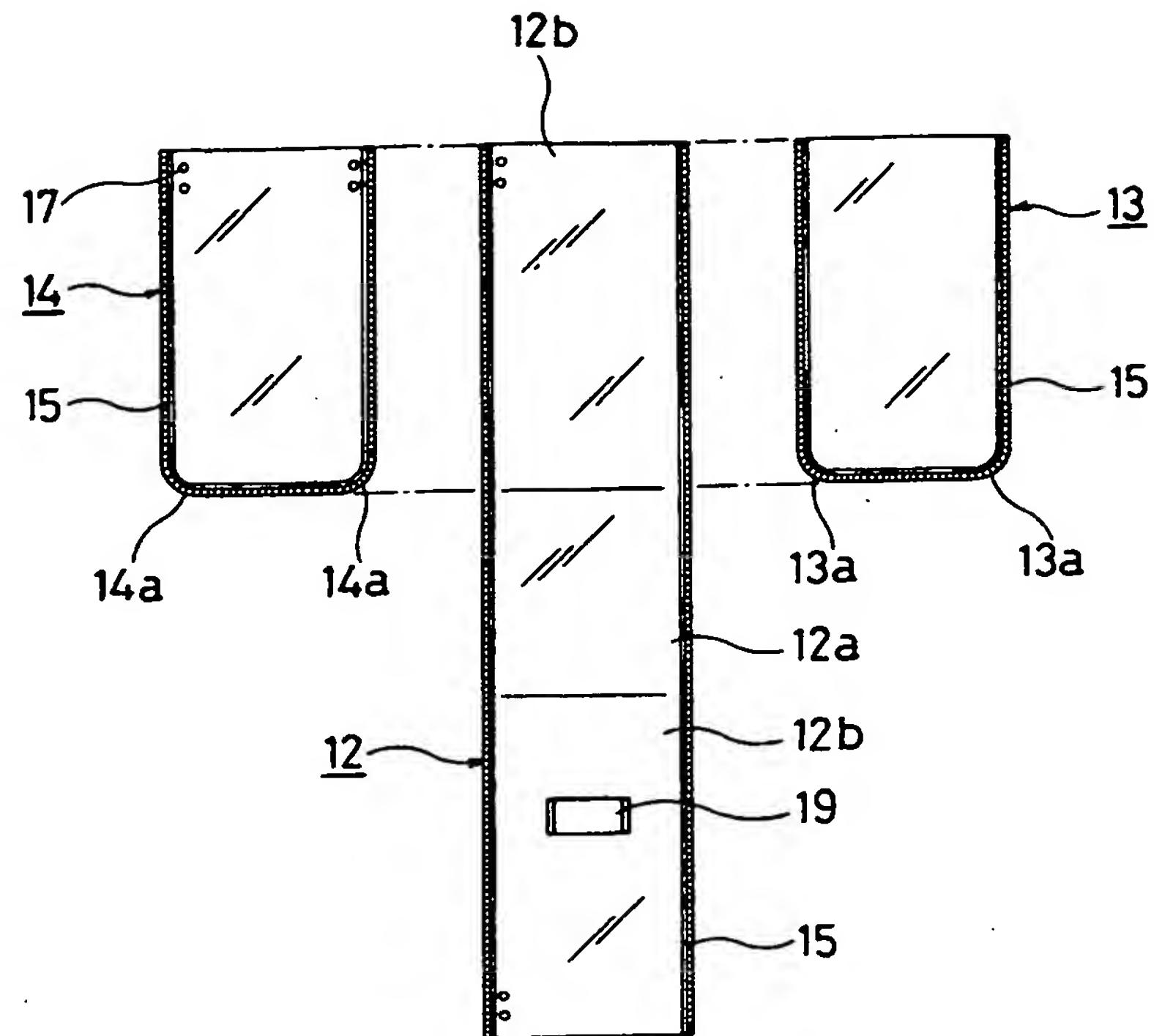
1 : コンテナ
11 : シート
12 : 第1シート
13 : 第2シート
16 : ビニルシート
17 : 鳩目
18 : 紐
19 : ポケット

第2図

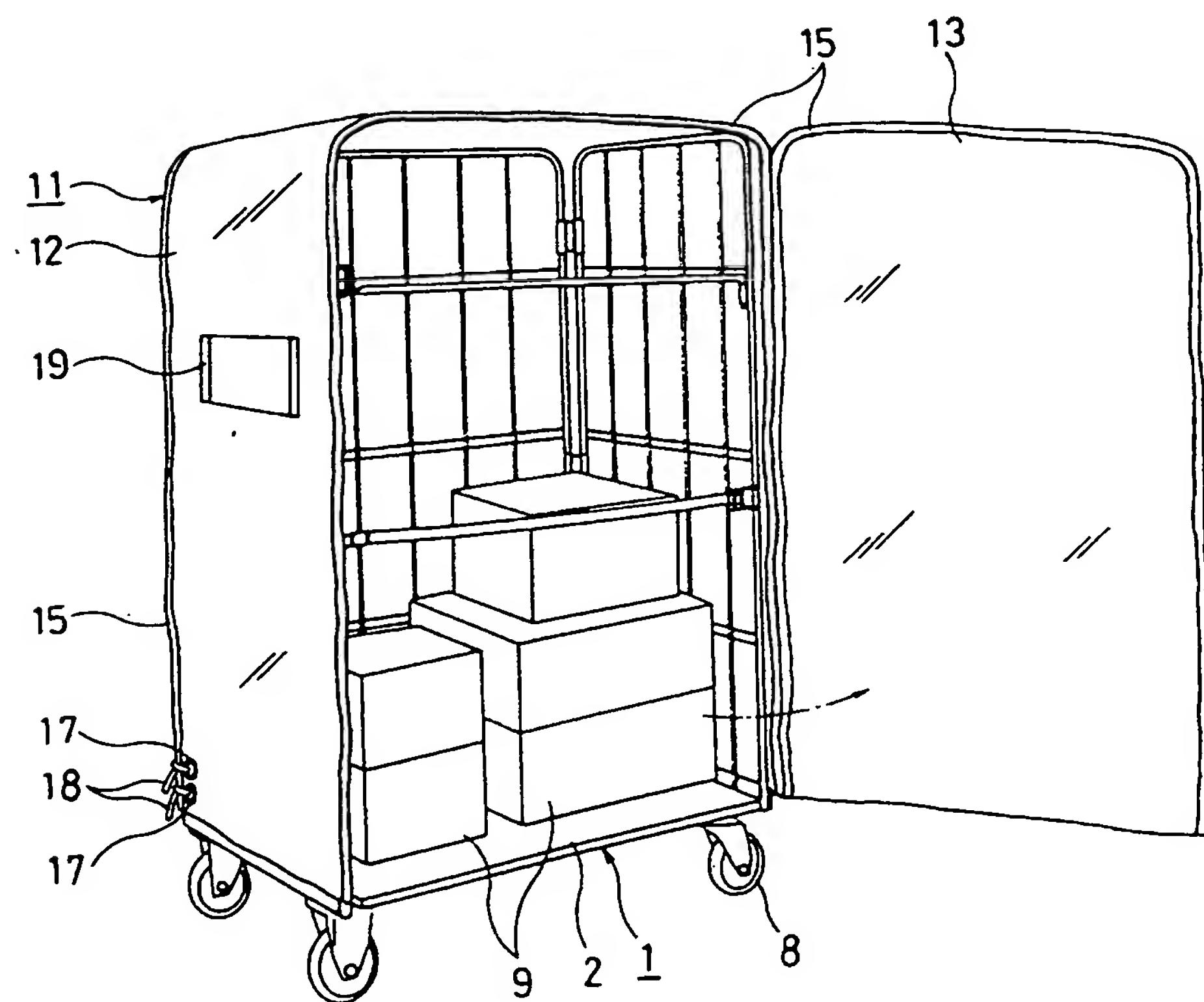


14 : 第3シート
13 a, 14 a : 上側コーナー部
15 : ファスナー

第3図



第4図



PAT-NO: JP404072145A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04072145 A
TITLE: CONTAINER SHEET

PUBN-DATE: March 6, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NAKAJIMA, SATORU	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KK NAKAJIMA SHIKO	N/A

APPL-NO: JP02182264

APPL-DATE: July 9, 1990

INT-CL (IPC): B65D019/42 , B65D019/38

US-CL-CURRENT: 150/154

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily effect the attachment of a sheet to a container and its detachment therefrom and reduce the design cut waste of the sheet material by a method wherein the top surface and opposite front and rear faces of the container are covered with a first sheet, the left and right side faces thereof are covered with a second and a third sheet and edge parts of the sheet are unfastened by joining members.

CONSTITUTION: A top panel face part 12a of a first sheet 12 is first mounted on the top surface of a container 1 and a side face part 12b thereof, a second sheet 13 and a third sheet 14 are placed on both sides, a front side and a rear side of the container 1, respectively. The bottom edges and side edges of the second sheet 13 and the third sheet 14 are fastened with fasteners 15. The lower parts of a sheet 11 are then fastened to the corner posts of the container 1 with ropes to complete the sheet covering. To take in and out parts 9, the fasteners 15 on the side and upper edges of the second front sheet 13 are unfastened to open the sheet without unfastening all the parts of the sheet.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio